



# 誘導灯・非常灯のメンテナンス

誘導灯・非常灯の常時適法状態の維持管理はオーナー様の義務です  
点検していますか？避難時の安全を確保するために、必ず定期点検を実施してください

- ◇ 停電時、誘導灯・非常灯が点灯しないと大変危険です！
- ◇ 誘導灯や非常灯は万一の停電時、バッテリーで点灯する仕組みになっています。
- ◇ 地震や火災等で、不意に停電が起きても、誘導灯や非常灯が点灯していれば速やかに避難することができます。
- ◇ バッテリーの点検・交換は安全管理の重要なポイントで、避難時の安全を確保するために、誘導灯・非常灯は停電時点灯時間、点検、報告が法令により定められています。

## 誘導灯・非常灯のバッテリー寿命の目安は… 4～6年です

停電の際、誘導灯は20分以上、非常灯は30分以上点灯しなければならないことが法令で定められています。いざという時に備えて、4～6年使用した内蔵バッテリーは早めに一齐交換しましょう。特に非常灯は、消防設備の点検からもれており、点検の盲点になっています。



<p>消防法 <b>誘導灯</b></p> <p>非常時点灯時間 連続<b>20</b>分以上 (60分点灯タイプもあります。) (規定の表示面輝度の確保) (消防法施行規則 第28条の3)</p>  <p>非常時は 内蔵バッテリーで点灯</p>	<p>建築基準法 <b>非常灯</b></p> <p>非常時点灯時間 連続<b>30</b>分以上 (60分点灯タイプもあります。) (規定の輝度の確保) (建築基準法施行令 126条の5に基づく 昭和45年建設省 告示第1830号)</p>  <p>非常時は 内蔵バッテリーで点灯</p>
--	--

いざという時に備えて、4～6年使用した内蔵バッテリーは、早めに一齐交換しましょう

## バッテリーだけでなく、器具にも寿命があります

誘導灯・非常灯の交換時期の目安は8～10年、**寿命は12～15年**です  
万一の経年劣化によるトラブルを考慮して、早めの点検や取替えをお勧めします

器具交換の際には、誘導灯や非常灯でも省エネを考えてみませんか？特に誘導灯は、**24時間365日点灯していますので、大幅な経費削減を実現することが可能です**

<p>高い輝度が得られる冷陰極ランプの採用により、表示面積が約3分の1とコンパクト化され、大幅な省エネ・省メンテナンスを実現します</p>	 <p>従来の蛍光ランプ使用の 3：1 誘導灯（大型）</p>	 <p>3W冷陰極ランプ使用の 1：1 高輝度誘導灯</p>
<p>消費電力</p>	<p>94W</p>	<p>7W</p>
<p>ランプ寿命</p>	<p>12,000h 500日 = 1年5ヶ月後交換</p>	<p>60,000h 2500日 = 6年11ヶ月後交換</p>
<p>年間電気代 + 年間ランプ代</p>	<p>19,698円</p>	<p><b>1,702円</b></p>